

あなたは黙っていられますか!?

日本共産党

阿寒の町のくらしも農業も破壊するTPP

昨年12月の総選挙で、TPP絶対阻止と公約した地元の自民党代議士。しかし、安倍首相とオバマ大統領の会談を皮切りに、政府はついにTPPの交渉入りを決めました。しかも、安倍・オバマ会談で合意したという乳製品などの5品目の聖域扱いは白紙にして、対米自動車輸出関税は維持、「かんぼ」のガン保険の発売も中止。なんでもかんでもアメリカの要求を丸のみです。BSEの規制や遺伝子組み換え食品の表示、残留農薬などについてもさらに協議していくとされました。まさに公約違反のオンパレードです。



参議院議員
紙 智子

政府が交渉入り
を表明しても、道
民のTPP反対の
声は変わっていま
せん。(TPPに
反対60%、十勝毎
日新聞4月30日
付北海道モ「道
民の合意のないままでのTPP参加
には反対」という立場です。
5月8日の参議院予算委員会で、
紙智子参議院議員は、「主権を放棄
し、国の形を変える日米交渉は直ち
にやめ、TPP交渉参加から撤退す
ることこそ日本の国益を守ること
だ」と、安倍首相を追及しました。
アメリカの要求を丸のみする安倍
政権には、乳製品の聖域扱いは期待
できません。農業所得を10年で倍増
すると言いますが、中身は大企業の
の参入拡大で、家族経営の農家を淘
汰していくことが狙いです。
TPP交渉参加撤回、TPP参加
阻止以外に北海道を守る道はありま
せん。



農業だけではありません くらしを破壊するTPPの危険

TPPを先取りして、BSEの検査対象月齢の緩和と、全頭検査の撤廃が進められています。

医療では、国民皆保険制度が崩され、ジェネリック医薬品を中心に、医療費が大幅に引き上げられます。



公共事業も外国に開放されます。地元業者の仕事が減り、公共事業費の底なしの下落が待っています。そこで働く人の賃金も...

私たちがTPP反対で全力でがんばります



党道国政相談室長
森 つねと

右から紙智子、井上さとし、小池あきら、山下よしき、仁比そうへい
(共産党参院比例区予定候補)



TPPは決まったわけではありません。闘いはこれからが正念場です。TPP交渉参加撤回、TPP参加阻止を。みなさん、一緒に力をあわせましょう。

あかん民報 2013年 5.6月号外

発行 日本共産党阿寒町支部
連絡先 北新町 3-3-5 66-1808